

令和5年度

知的財産包括支援事業 —事例集—



知的財産包括支援

事業概要

県内業界団体やスタートアップ企業が抱える知的財産に関する課題を解決に導き、高校や大学等の研究・教職員や学生等の知的財産に対する関心や知識を高めるため、弁理士やブランディングコンサルタント等の専門家による継続的な助言・講義等を行います。

- ✓ 上限 4 回まで継続的な助言・講義を受けられます
- ✓ 申請者の費用負担はありません
※別途、助言・講義を受けるための会議室・教室等をご用意いただく場合があります

こんな方におススメ

- 地域ブランドを確立して、商標登録・商品開発などを考えたい
- 特許等の知財を活用した事業戦略を検討したい
- 知的財産の基本について知ってもらいたい
- 商品パッケージデザインやネーミング等について学んでもらいたい
- 共同研究等を推進するため、知財の権利化や管理上の注意事項等を確認したい

■ 支援までの流れ



《支援例》

ご要望の例	支援内容例	専門家
地域ブランドを確立して、商標登録・商品開発などを考えたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 商標などの基礎講義 ● 地域団体商標出願等に関する助言 ● 商品のブランディングに関する助言 	弁理士 ブランディング コンサルタント
特許等の知財を活用した事業戦略を検討したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許などの基礎講義 ● 知財検索サービスでの先行調査 ● 特許マップ等の作成及び分析方法 	弁理士
知的財産の基本について知ってもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許、商標、意匠などの基礎講義 ● 知財を活用したビジネス事例の紹介 	弁理士 企業経営者
商品パッケージデザインやネーミング等について学んでもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 商標などの基礎講義 ● 商品企画(コンセプトやネーミング等)のワークショップ 	ブランディング コンサルタント
共同研究等を推進するため、知財の権利化や管理上の注意事項等を確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許、商標、意匠などの基礎講義 ● 個別の実務状況等に対する助言 	弁理士

■ R5 年度 活用実績

- 団体数 …… 6 社
 - 学校数 …… 7 校 (受講者数: 497名)
- 合計 13 件

団体

6社

活用実績

学校

7校

活用実績

専門家紹介



弁理士
阿部 伸一
(BS国際特許事務所)



弁理士
大久保 秀人
(沖縄国際特許商標事務所)



弁理士
西平 守秀
(福島特許事務所)



弁理士
城田 晴栄
(株式会社ループホール)



弁理士
北村 光司
(Seiju国際知財事務所)



弁理士
松本 浩一郎
(Seiju国際知財事務所/IP Valuation特許事務所)



プランニングコーディネーター
中村 美樹
(クリエイティブファクトリー・バウラギ)

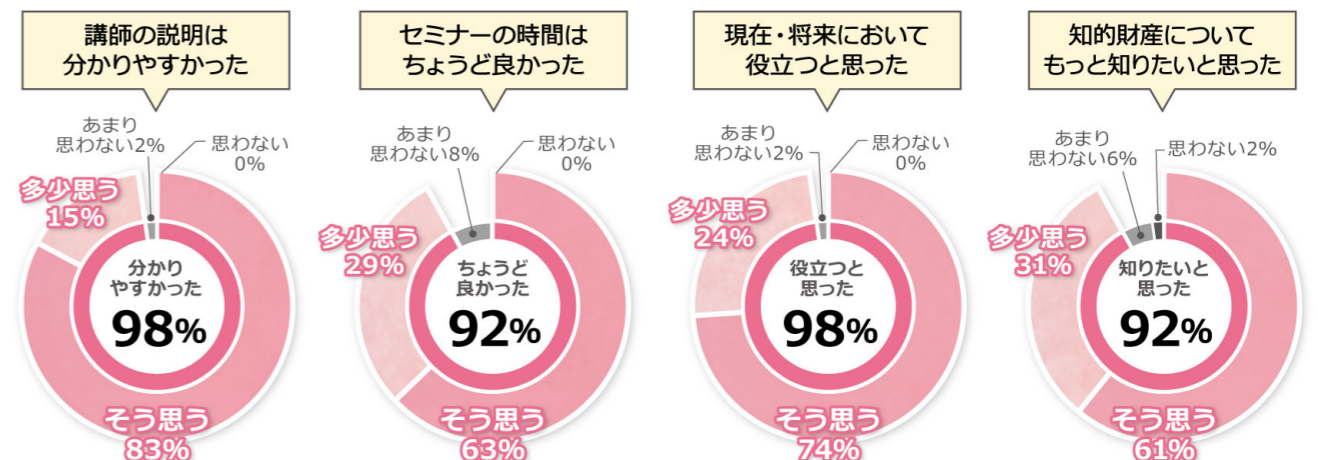


ブランドプロデューサー
平岡 直也
(株式会社hasso.)



経営コンサルタント
山本 伸之
(株式会社ヒューマンビット)

■ アンケート結果(受講者全体)



事例
団体

1

業界等に関連する知的財産の基礎を学びたい

一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター (ISCO)

実施方法 オンライン

実施目的 知的財産（特許・商標・著作権等）について、IT 業界にとって必要不可欠な事項や最近のトピックを学び、経営戦略策定等に知財を活用する力を身につける

- 実施内容**
- IT 業界での著作権の重要性（職務著作の考え方や権利の帰属関係、AI との関係性についてなど）
 - ブランド保護の基本的な重要性（商標の登録手続きなど）
 - 特許などの知的財産権や先行技術調査（強みの気づき方、調査方法の概要、商談などで相手側にアイデアを取られないようにするためのコツなど）



支援を活用した感想

知的財産に関する知識やスキルは広範で、専門的な内容も多岐にわたる中、事例や具体的な手順を解説いただき、知的財産が日常生活において関わり深いものであることを認識できた。

事例
団体

2

支援先企業の潜在的・顕在的課題を支援したい

株式会社沖縄 TLO

実施方法 リアル開催

実施目的 研究開発型の新商品・新サービスの開発プロジェクトに取り組む前に、知的財産に関する意識を高め、情報をアップデートする

- 実施内容**
- 共同研究契約における企業・研究者双方の留意点について
 - 市場調査や展示会等の際、どのような点に気を付ければよいか（営業秘密の管理等）
 - 支援機関・支援策等の紹介



支援を活用した感想

参加者の知財に関する意識、理解度が一定ではない中、いずれの参加者にも自分事として捉えて頂けるような内容に調整のうえご解説頂いたのが有難かった。

事例
団体

3

ブランドの作り方を学びたい

一般財団法人沖縄美ら島財団

実施方法 リアル開催

実施目的 新商品開発に伴うブランディングの基礎を習得し、『美ら島財団といえば』と思わせるオリジナル商品を開発する

実施内容 これまでの商品の振り返りを踏まえ、新たな商品企画を検討するワーク及び施設内での売り方に関する助言



支援を活用した感想

- 売り方を変えることで商品の価値を高め、売れる可能性を引き上げることができると学び、売る方法を考えるようになった。
- 商品開発に関する基礎知識及び開発までの流れのイメージを掴むことができた。

事例
団体

4

自社の知財（特色や強み）に気づく

OMS（沖縄マネージャーズセミナー）

実施方法 リアル開催

実施目的 異なるバックグラウンドを持つ経営者同士の交流を通じ、知的財産権に繋がり得る企業の持つ潜在的ソフトパワーを掘り起こす

実施内容 県内外の企業経営者等を対象に、相互インタビューとディスカッションで参加者個人と会社が持つ価値観や強みなどを明らかにしていくワーク中心のセミナー



支援を活用した感想

自分の中で漠然としていた価値観や強みなどがより鮮明になり、自分の認識とは違った角度で価値観や強みを捉え直すことができた。



学生向け 事例 1 作品を制作発表する際の留意点や基本的な知識を学びたい
沖縄県立真和志高等学校

実施方法 リアル開催

実施目的 作品を発表する為に必要なモラル等、基本的な知識を学び、社会のルールやマナーを学習し今後の作品制作へ生かす

実施内容 平面(イラスト・まんが)、写真・映像、陶芸等の創作活動に取り組む学生を対象とした、著作権・意匠権に関する基礎的な概要について



学校担当者の感想

SNSの普及や様々な情報発信の媒体を持つ生徒にとって、著作権の学習を通して社会的なルールやマナーについてしっかりと学ぶ事が出来た。



学生向け 事例 3 商品や商標に関するデザインについて学びたい
沖縄県立中部農林高等学校

実施方法 リアル開催

実施目的 商品開発に必要な知識を学び、食品関連産業に従事できる能力と態度を育成する

実施内容 ●商品のネーミングやパッケージなどの商品デザインについて、写真や実物を用いた講義
●廃棄される食材を題材にした商品開発のワークショップ



学校担当者の感想

豊富な写真や実物を示しながら商品デザインについて講義され、生徒一人ひとりが興味深く学んでいた。今後の製品開発や課題研究などにより実践的に取り組むことが期待できる。



学生向け 事例 2 専門家からの実技指導を受けたい
沖縄県立沖縄工業高等学校

実施方法 リアル開催

実施目的 パテントコンテスト、デザインパテントコンテスト応募への取り組みを行う中で、特許や意匠に係るアイデアの創造、公知技術検索の知識を得る

実施内容 ●パテントコンテスト、デザインパテントコンテストに向けた生徒考案内容及び試作品についての助言
●具体的かつ相手に分かりやすく伝える図の示し方や文書の書き方についての助言



学校担当者の感想

改良の余地や新たな視点で新しい発見がないか、といった見え方・考え方・工夫の仕方をアドバイス頂いた。また、生徒のやる気を引き出せる声掛けもして貰えたことは、とても有難い。

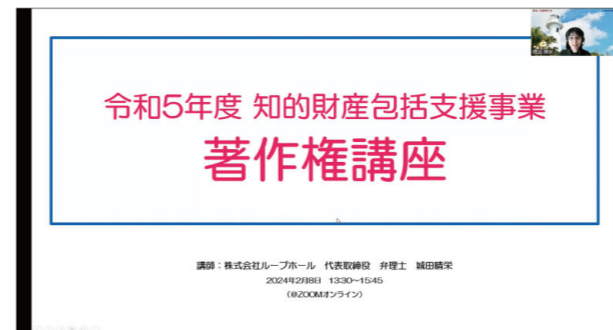


職員向け 事例 4 教職員への研修を行いたい
沖縄県立芸術大学

実施方法 オンライン

実施目的 企業や試験研究機関等との共同研究を積極的に進めるため、教職員を対象に知的財産(著作権)に関する理解を深めたい

実施内容 ●著作権等の基礎、著作権侵害、大学職員として知っておきたいこと等について
●知的財産権に関して「特に知りたいこと」「実務上不安なこと」等について事前アンケートを取り、解説を行った



学校担当者の感想

芸術大学に特化した内容で大変参考になったとの感想が多く寄せられ、有意義な研修となった。今後も同研修を継続し、教育研究業務を適正に遂行していきたい。



【令和5年度】
知的財産包括支援事業 事例集

問い合わせ先



〒901-0152 沖縄県那覇市小祿1831番地1
(沖縄産業支援センター4階 401)

TEL:098-859-6239

E-mail:chizai@okinawa-ric.or.jp

Website : <https://okinawa-ric.jp/>